



航空機操縦士養成連絡協議会

各ワーキンググループとりまとめ概要
(平成30年度)

学費負担軽減ワーキンググループ

具体的な検討・取組み内容

平成30年度から無利子貸与型奨学金「未来のパイロット」の運用が開始され、運営主体である（一社）航空機操縦士育英会の運営委員会において本事業にかかる検討・取組みがなされたところ。

■民間養成機関の奨学金事業への参加拡大

- ・平成30年4月に第一工業大学が参加、平成31年3月に法政大学が参加

■奨学金貸与手続きの状況

- ・平成30年度（運用初年度）12名に貸与
- ・平成31年度 20名に新たに貸与予定

■制度の拡充に関する取組み

- ・本協議会等が運営する「skyworks」及び各養成機関HPに概要及び募集要項を掲載。
- ・他の奨学金との併給については、併給不可とすると募集人数枠の定員を満たさないことが想定されることから、各種奨学金が公平に運用されているかどうかを運営委員会として情報収集していくこととし、当面、併給を認める。

今後の検討課題・取組み等

無利子貸与型奨学金「未来のパイロット」の運用が開始される中で把握される新たな課題について、引き続き、運営主体である（一社）航空機操縦士育英会の運営委員会で取組を進めていくこととする。

また、平成31年3月に法政大学が入会したことを踏まえ、希望する奨学生数、貸与額、貸与回数等を運営委員会で検討していく。

運営委員会及び奨学金の運用状況を踏まえ、奨学生の拡充等、本事業の発展等の必要性が生じた場合には、当該ワーキンググループを開催することとし、「未来のパイロット」に参加していない民間養成機関に対する本奨学金への参加呼びかけや、ANAホールディングス及び日本航空以外のエアラインや、その他の航空関係会社等に対し奨学金への協力を呼びかける。

裾野拡大ワーキンググループ

具体的な検討・取組み内容

■ 女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者の増加に向けた取組

- ・現役の女性操縦士・女性整備士・女性製造技術者による講演会を開催。（H30.12）

■ 航空機産業人材確保に関する取り組み

- ・経済産業省（中部経済産業局）において、（独）国立高等専門学校機構及び地域の高等専門学校と連携し、学生を対象に航空宇宙関連企業等からの講師による、航空宇宙先端技術分野に係る特別講義を5回に亘り実施した。同機構のTV会議システムを活用して講義の様子を中継配信し、関心のある全国15高専の学生が参加した。また、ウェブサイト等を通じてインターンシップ受け入れ実施企業の情報を発信した。

■ その他裾野拡大に関する取組

- ・スカイスポーツフェスタ イン埼玉（公益財団法人日本学生航空連盟）
 - －グライダーなどを実際に“乗る、ふれる、飛ぶ”ことができる体験の実施 等
- ・子ども霞ヶ関見学デーへの協力
 - －現役操縦士等によるお仕事紹介、日本航空学園によるフライトシュミレーター体験 等
- ・各航空会社における取り組み（航空教室の実施、工場見学等）

今後の検討課題・取組み等

- 「子ども霞ヶ関見学デー」等、これまで実施してきた各種裾野拡大の取り組みは、可能な限り次年度においても継続して計画・実行する。
- 航空機産業人材確保については、これまで高専生に対して専門技術者による講義等を実施し一定の成果が出たことから、引き続き、こうした学生向け取組みを検討していく。